磯っ子レポート No.40

大磯の蘭疇―松本順と大磯海水浴場

松本順は大磯に海水浴場を開いた人です。当時経済に問題があった大磯に海水浴場を開いてくれたから、大磯はすくわれたのだそうです。また、松本順は医学にすぐれていた人だったそうです。蘭学を学び、ついには日本初めての西洋医学による病院までつくってしまいました。海軍の医者となって長崎に行ったこともあるそうです。

松本順は、大磯を助けてくれた人&西洋医学にすぐれていた人だということが、今回の記念展からわかりました。今までは大磯に海水浴場を開いた人だとしか知らなかったし、なぜ開いたのかということや、医学にすぐれていた人だったということなどはぜんぜん知りませんでした。でもこの記念展で松本順のことにくわしくなりました。いろいろなことがわかって楽しかったです。

（高島あずさ）

わくわくどきどき ミステリーナイトハイク

（7月21日）

カナカナカナカナ…、ひぐらしの声がきこえる…。あー夏がきたんだなと思いました。

あたりはすっかり夕焼けで真っ赤になって、ミステリーな夜が近づいてきます。（まさにミステリーナイトハイク！）道はぬかるんでいたけど、どんどん前へ進みます。すると、大きな穴がありました。昔の人のお墓だそうです。山のしゃ面にたくさんの穴があるのはなぜだろう？なぜ、わざわざ山につくったんだろう？きっと、そこでねむる人がいつまでも大磯の自然を見ることができるようにと思ってつくったんだと思います。

ナイトハイクは気持ちも周りのけしきもワクワクドキドキしてしまう不思議な感じがします。ミステリーなことがたくさんあります。来年はどんなミステリーが待っているのでしょう？

（内海七夕美）

第19回なぎさの祭典 夏!!大磯!!祭!!

（7月28日）

会場は人が多くて大変だったけど、コンサートも楽しくて花火もきれいでした。コンサートは私の知らない曲ばかりだったけど、曲の間のちょっとしたおしゃべりなど楽しかったです。最後に歌った『つばさをください』は私も知っていたのでいっしょに歌いました。

花火はみんなのカウントダウンで始まりました。いろいろな種類の花火がうち上げられ、すごくきれいでした。特におもしろかった花火は、うち上げられたあと、ヒュルヒュル～とひもみたいなものが回転しながらでてきた花火です。虫みたいだなと思いました。

前の日に二宮の花火を見に行っていたけど、大磯の花火も負けずにきれいでした。

（高島あずさ）

子ども水泳教室

（7月25日～27日）

去年、水泳教室に行ってクロールができるようになりましたが、その後ぜんぜん泳いでいなかったので、今年も教えてもらうことにしました。

最初の日は少し寒くて、プールにいる人も少なかったです。「おしりつけ」というのをやりました。それはプールの底におしりをつけることです。最初はいてしまい底までとどかなかったけど、ほかのうまい人を見て「こうやるのか」と思い、次やったらできました。次はひざをかかえてうく「だるまうき」と水の中にしずんでジャンプする「ボビング」をやりました。他にビート板でクロールをしたり、せおよぎやとびこみ（すわってやる）などもやりました。

次の日はクロールを教えてもらいました。25mをクロールで泳ぎました。つかれました。最後の日は、少しクロールのアドバイスをしてもらってから25m泳ぎました。その後「水泳リレー」をやりました。私たちのグループは2位でした。同じ学年の子もたくさんいて楽しかったです。来年も参加したいです。

（相原美奈）

下水道施設見学会

（7月28日）

私は下水道がなかったらどうなるのだろうと思いました。下水道がないと、川の水がよごれます。川がよごれると魚がすめません。それに、川がきたないと悪しゅうや健康上にも良くありません。やっぱり下水道があったほうがいいです。

では、下水道で水はきれいになりますが、1人1人が気をつけることとはなんでしょう。よごれた水を（流しなどに）流したりしないことです。川はすぐにはきれいにならないけど、毎日気をつけていれば、少しずつ川はきれいになると思います。

（内海七夕美）

このコーナーを一緒に手伝ってくれるこども記者を募集しています。

◎問い合わせ
企画室 ☎内線206